

## 調査概要

調査名	小学生の漢字力に関する実態調査
調査内容	漢字を実際に書くことができるかを調査した。 * 本報告書における「漢字力」は、実際に「書けるか否か」(漢字テストの正答率)で「高低」を示している。 ①各学年配当漢字を全て出題。各漢字につき、複数の読み方(音読み・訓読み)で出題。 * 該当する全ての読み方を出題していない漢字が含まれている(実査の回答時間考慮のため)。 ②漢字配当学年では習わない読みでも、小学校6年間で学習する読み方は出題。 * 漢字配当学年では習っていない読み方が出題されているケースもある。 ③対象漢字:小学校6学年配当漢字1,006字。
調査方法	学校通しによる漢字力テスト・質問紙調査 * 出題方法:漢字の「書き」のみを問題文として出題、回答(送り仮名を含むものは送り仮名も答えさせている)。(漢字数が多いため、テストのパターンを分けて1人あたり約60~90字を回答してもらっている)
調査対象	全国の公立小学校21校、中学校17校の小学2年~中学1年生 合計8,955名 * 「書き」の問題なので、学習指導要領に従い、次学年に進級した児童(生徒)が回答(例 1年生問題→2年生が回答。よって6年生問題は中学1年生が回答)。学校は無作為抽出。
調査時期	2007年5月1日(火)~6月30日(土)

採点方法:複数の教科書を参照し、掲載漢字を分析した。その結果をもとに解答(無答は含まない)の正誤を13の観点から判断した(誤答観点は下記を参照)。このとき、とめ・はねなど、字形の細かい部分までを採点対象としたが、ある教科書ははねているが、別の教科書ははねていない、というように混在する場合は共に正解として採点した。

## 誤答観点

### 1 同音異字

「暑・熱・厚」「関心・感心」「一つ・人っ」「千代紙・千用紙」などのように、音は同じでも正解に該当しないものを混濁し解答している。  
\* 音の類似による誤用も1での誤りとして集計。

### 2 類似字形

「玉⇒王」「予⇒子」などのように、字の形が似たものを混濁し解答している。

### 3 点画の 不足・過剰

「絵」などのように、正解の字に対し、解答はいずこかの点画が不足している、または余計に追記されている。

### 4 へんとつくりの 入れ替わり

「矧」などのように、正解の字に対し、解答はその左右が逆になっている。

### 5 鏡文字

「阨」などのように、正解の字に対し、解答は反転し鏡で映したようになっている。

### 6 とめ・はね

「引」などのように、正解の字に対し、解答はとめるべき所ではねる、またははねるべき所ではねていない。

# contents

調査概要・誤答観点	2
小学生の漢字力に関する実態調査—全体の傾向について…	4
小学生の漢字力に関する実態調査	
1年生の結果	8
2年生の結果	12
3年生の結果	18
4年生の結果	24
5年生の結果	30
6年生の結果	36
意識・習慣に関する調査の結果	42

※本報告書で使用している百分比(%)は、有効回答数のうち、その設問に該当する回答者を母数として算出し、小数点第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、数値の和が100にならない場合や合計を示す数値と一致しない場合がある。

※漢字テスト結果表中の、出題の読みは、カタカナは「音読み」、ひらがなは「訓読み」を示す。出題時に濁点あり等で読ませた問題は、出題のままの表記としている。また、正答率、誤答率、無答率の数値は全て%である。

- |                      |   |
|----------------------|---|
| 7 出る・出ない・くつつく・くつつかない | 「曲」「画」などのように、正解の字に対し、解答は出るべき所が出ていない(あるいはその逆)、くつついてはいけな所がくつついている(あるいはその逆)。 |
| 8 点・線の向き、長さが不正確      | 「顔」「牛」などのように、正解の字に対し、解答は点の向きが逆、あるいは線の長さが短かったり、長かったりする。                    |
| 9 その他(字形のミス)         | 「烏」などのように、2~8に該当しない誤りで、解答は存在しない漢字を作っている。                                  |
| 10 字義の連想・類似熟語の連想     | 「室⇒屋」「弓⇒矢」「上⇒下」「左⇒右」などのように、連想はするが誤った解答をしている。                              |
| 11 漢字の繰り返し・転倒        | 「勉強⇒勉勉」「先生⇒生先」などのように、熟語において繰り返し、または転倒が解答に起こっている。                          |
| 12 送り仮名が不正確          | 「分かる⇒分る」「小さい⇒小さい」などのように、送り仮名を誤って解答をしている。                                  |
| 13 不明                | 1~12に該当せず、解答の誤答理由が判断できない。   |